

生活支援体制整備事業について

令和2年3月11日(水)

社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会

1.生活支援体制整備事業の目的

独居や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために、地域とのつながりや生きがいを持てるような様々な生活支援や介護予防、社会参加の場の必要性が増している。

これらのニーズを踏まえて、地域資源の把握・ネットワーク化やボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源・サービスの開発などを行う「生活支援コーディネーター」を配置し、多様な主体（地域住民、企業、NPO法人など）による生活支援・介護予防サービスの充実を図ることを目的とする。

大阪市では、平成27年8月に3区で開始、都島区は平成29年10月から開始。

2.生活支援コーディネーターの役割

(1)ニーズの把握

どのような困りごとが多く、どのような理由があるのかを、アンケート調査や聞き取り調査により把握・分析をする。

(2)社会資源の把握

地域の通いの場などのインフォーマルサービス、NPO法人やボランティアグループなど地域の社会資源を把握し、その情報を発信する。

(3)地域づくりに関する意見交換などの実施、ネットワークづくり

地域における課題や情報共有、連携強化の場「協議体」を作り、その会議を定期的を開催する。

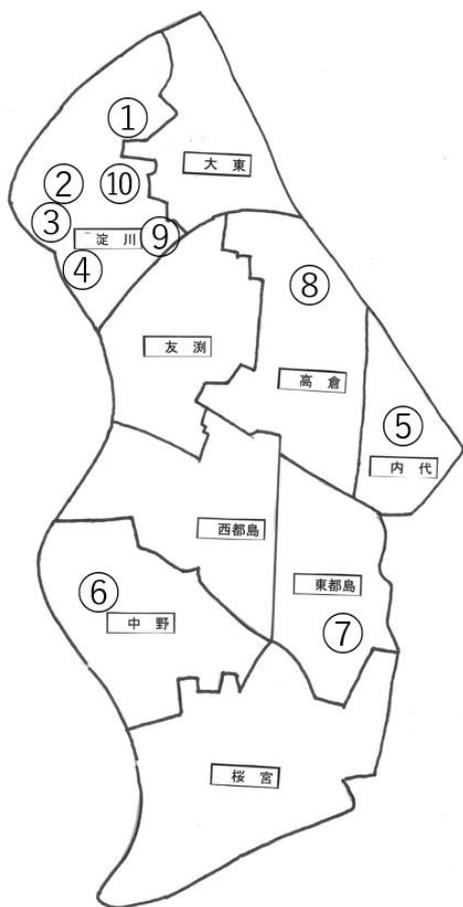
(4)担い手の養成・活動支援

サービスの担い手の発掘や養成し、活動を支援する。

(5)インフォーマルサービス創出の企画・支援

サービス創出に向け、住民、ボランティアグループ、企業、NPO法人、社会福祉法人、その他関係機関などに働きかける。

3.生活支援体制整備事業におけるインフォーマルサービス創出について

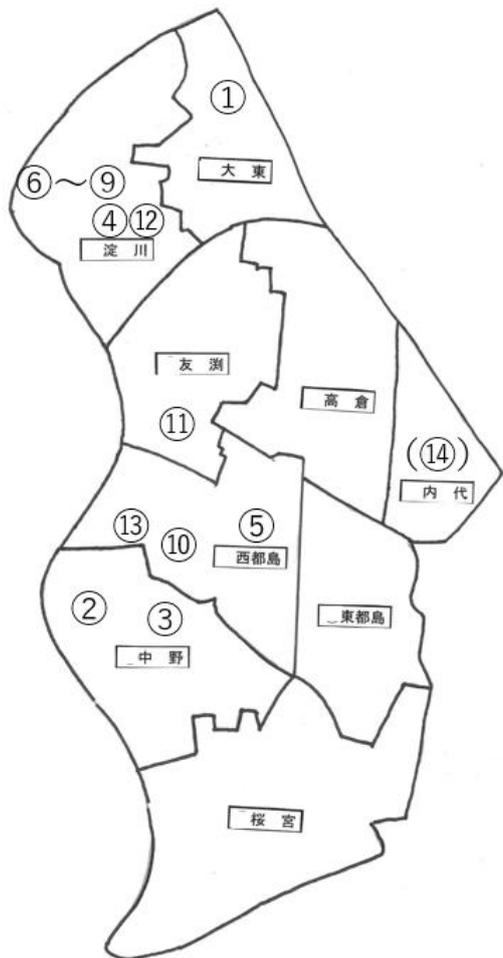


平成 30 年度

- ① 淀川 体操グループ（新規）
- ② 淀川 体操グループ（新規）
- ③ 淀川 体操グループ（新規）
- ④ 淀川 体操グループ（新規）
- ⑤ 内代 体操グループ（新規）
- ⑥ 中野 体操グループ（新規）
- ⑦ 東都島 銭湯を利用した交流の場（新規）
- ⑧ 高倉 銭湯を利用した交流の場（新規）
- ⑨ 淀川 介護予防（体操、講演会）（新規）
- ⑩ 淀川 在宅医療に関する勉強会（拡充）

その他

中野 桜宮 東都島 内代 淀川 大東
 買い物弱者への買い物支援（新規）
 移動スーパーとくし丸の誘致



令和元年度

- ① 大東 銭湯を利用した交流の場（新規）
- ② 中野 体操グループ（新規）
- ③ 中野 安否確認ボランティアグループ（新規）
- ④ 淀川 コーラスグループ（新規）
- ⑤ 西都島 集いの場（カフェ）（新規）
- ⑥ 淀川 コーラスグループ（新規）
- ⑦ 淀川 有償ボランティアグループ（新規）
- ⑧ 淀川 スマホ教室（新規）
- ⑨ 淀川 在宅医療に関する勉強会（拡充）
- ⑩ 西都島 夕食会（新規）
- ⑪ 友洲 茶話会（新規）
- ⑫ 淀川 コーラスグループ（拡充）
- ⑬ 西都島 夕食会（新規）
- ⑭ 内代 ディスコパーティ（新規）
 （新型コロナウイルス拡大防止のため中止）